

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公表番号】特表 2002-536144 (P2002-536144A)

【公表日】平成 14 年 10 月 29 日 (2002.10.29)

【出願番号】特願 2000-598580 (P2000-598580)

【国際特許分類】

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

A 6 3 B 37/08 (2006.01)

A 6 3 B 37/12 (2006.01)

C 0 8 F 8/44 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 37/00 L

A 6 3 B 37/08

A 6 3 B 37/12

C 0 8 F 8/44

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 6 日 (2007.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (i) 中空内部を画定する内面と前記内面とは反対側の外面を有する球形金属マントルと、 (ii) 前記金属マントル内で、前記マントルの前記内面に近接配置された気泡コアとを含んでおり、少なくとも約 75 の Riehle 圧縮力を有するコアと；

前記コアの周囲に配置され、少なくとも約 65 のショア D 硬度を有する重合体カバーとを含むゴルフボール。

【請求項 2】 前記カバーは、16 重量%を超えたアルファ、ベータ不飽和カルボン酸の共重合体と、共重合体の約 10 ~ 約 90 % のカルボキシル基が金属陽イオンで中和されるアルファオレフィンとを含む少なくとも 1 つの高酸性イオノマー樹脂から成る、請求項 1 記載のゴルフボール。

【請求項 3】 前記カバーは、約 17 ~ 約 25 重量%のアルファ、ベータ不飽和カルボン酸の共重合体と、共重合体の約 10 ~ 約 90 % のカルボキシル基が金属陽イオンで中和されるアルファオレフィンとを含む少なくとも 1 つの高酸性イオノマー樹脂から成る、請求項 2 記載のゴルフボール。

【請求項 4】 前記カバーは、約 18.5 ~ 約 21.5 重量%のアルファ、ベータ不飽和カルボン酸と、共重合体の約 10 ~ 約 90 % のカルボキシル基が金属陽イオンで中和されるアルファオレフィンとを含む少なくとも 1 つの高酸性イオノマー樹脂から成る、請求項 3 記載のゴルフボール。

【請求項 5】 前記マントルは、鋼、チタン、クロム、ニッケル及びそれらの合金から成る群から選択された少なくとも 1 つの金属を含む、請求項 1 記載のゴルフボール。

【請求項 6】 前記マントルはニッケルチタン合金を含む、請求項 5 記載のゴルフボール。

【請求項 7】 前記マントルは約 0.001 インチ ~ 約 0.050 インチの範囲の均一な厚さがある、請求項 1 記載のゴルフボール。

【請求項 8】 前記厚さは約 0.005 インチ ~ 約 0.050 インチの範囲である、請求

項 7 記載のゴルフボール。

【請求項 9】 前記厚さは約 0 . 0 0 5 インチ ~ 約 0 . 0 1 0 インチの範囲である、請求項 8 記載のゴルフボール。

【請求項 10】 前記マントルは、

前記内面を設けた第 1 球形シェルと；

前記第 1 シェルに隣接して配置されており、前記外面を設けた第 2 球形シェルとを含む、請求項 1 記載のゴルフボール。

【請求項 11】 前記第 1 シェルと第 2 シェルは、鋼、チタン、クロム、ニッケル及びそれらの合金から成る群から選択された金属を個々に含む、請求項 10 記載のゴルフボール。

【請求項 12】 前記第 1 シェルと第 2 シェルの少なくとも 1 つは、ニッケルチタン合金を含む、請求項 11 記載のゴルフボール。

【請求項 13】 前記マントルと前記気泡コアとの間に配置された高分子中空球形基体をさらに含む、請求項 1 記載のゴルフボール。